

ヤギ草プロジェクト -second season-

ーヤギ除草隊-YJST-ー

代表者 西田照（共獣B 6年）
構成員 井上夏梨（共獣B 6年）伊豫岡凌平（共獣B 6年）河村梨央（共獣B 6年）
土田悠梨（共獣B 6年）大塚有紗（共獣B 2年）
重本佳音（共獣B 2年）宮津陽太（共獣B 2年）
三輪祥大（共獣B 2年）岸田獅道（共獣B 1年）
宮本桂太朗（共獣B 1年）

1. 「ヤギ草プロジェクト」とは

本プロジェクトはヤギによる大学構内の除草を目的としたプロジェクトです。昨年度のおもしろプロジェクトにおいて、農学部附属農場内2カ所、農獣棟中庭、東門付近の草地、アーチェリー場付近の草本調査を実施し、有毒植物や動物に中毒を起こす植物がないかを確認しました。また、学内の方に身の回りの草について興味を持っていただくことを目的として、草図鑑を作製しました。そして、今年度は、実際にヤギを草の生えている場所に連れていき、ヤギ除草を本格的に開始しました。

2. ヤギ草プロジェクトの目的

本プロジェクトの目的は、山口大学構内の除草をヤギ除草で行うことで環境にやさしい山口大学を目指すことです。ヤギによる除草は、刈り取った草の廃棄の必要がない、電力が必要ない、除草剤を使わないため生態系への影響が少ない、などの理由で近年様々な場所で実施されております。草はどこにでも生えるもので、山口大学の構内も例外ではありません。山口大学共同獣医学部にもヤギが2頭いることから、大学構内でもヤギ除草が行えるのではないかと考えました。

3. ヤギ草プロジェクト ヤギ除草に向けて

2024年6月におもしろプロジェクトに採択していただき、そこからヤギ除草への本格的な準備をすすめました。ヤギに安全に除草してもらうためにしないといけない準備はたくさんありました。まずは除草場所の決定です。ヤギにとって初めての除草であることやヤギと柵の移動距離を考えて、本年度はまず農学部附属農場内のため池3から除草を始めさせていただくことにしました。その場所でヤギ除草を行うために、学生支援課や農場の皆様に何度も時間を割いていただき、話を重ね、ヤギ除草中は見守る人をつけること、ヤギ除草は草がある11月までとすることなど、ヤギ除草をキャンパス内で行うための具体的な方法やルールを決めました。また、それに伴って、除草用の移動式の柵などの必要な物品を購入していただき、ヤギ除草のための準備を行いました。いよいよ柵を除草場所に建てることになったのは8月初旬でした。柵を除草場所まで運び、建てていくのですが、結構な重労働、そして、暑さ。熱中症にならないように休憩もはさみながら、少しずつみんなで協力して頑張って柵を準備しました。柵の準備が終わった後は、除草区域内に有毒植物やヤギが中毒を起こす植物はないか再度確認し、ヤギの休憩用のパラソルなどを準備しました。



柵の組み立て



柵の設置完了

4. ヤギ草プロジェクト ヤギ除草開始！と思いきや…

柵の準備が終わったのは9月頃でした。柵の準備は完了し、あとはヤギを連れて行くだけでした。山口大学にいるヤギは2匹で、体が大きい方が雄のコメくん、小さい方が雌のムギちゃんです。2匹はいつも一緒なので、除草場所まで移動するときも2匹一緒なら除草場所まで移動できると考えていました。しかし、そうも上手くいきませんでした。ヤギと一緒に除草場所まで徒歩3分くらいの距離なのですが、ヤギが途中で立ち止まって元のヤギ小屋に戻ろうとしてしまいました。普段は歩くことのない道だから嫌なのではないか、歩き方が気に入らないのではないかと、どうして上手くいかないのかメンバーで頭を抱えて悩みました。しかし、ヤギの安全が第一で、焦らずヤギにも少しずつ慣れてもらおうということで、ヤギ小屋の前を一緒にくると散歩する練習から始めました。集中講義や実習などで時間が制限される中、少しの時間でも集まれる人でヤギと一緒に歩く練習をしました。また、ヤギの歩く道を作ってあげることで歩きやすくなるのではないかとというアドバイスをいただき、段ボールでヤギの周りを囲んで進む段ボール板を作製しました。試作品を作って試してみるとヤギたちも歩きやすかったようで、練習していくとスムーズに歩いてくれるようになりました。また、逆にヤギたちが走ってしまう時にはヤギも私たちも危ないので、ヤギの前に板を置きながらゆっくり歩くためにも使えるということが分かりました。段ボール板自体も軽量化や補強をして、自分たちもヤギに合わせてスムーズに動けるように工夫しました。



コメくん（奥）とムギちゃん（手前）



段ボール板を使うことでスムーズに移動



ヤギが走らないように段ボール板を前に置いて移動

5. ヤギ草プロジェクト 念願のヤギ除草

ヤギと一緒に除草場所まで行けるようになったため、いよいよ除草を開始しました。始めは30分、そこから少しずつ時間を伸ばしていきました。季節は秋になり、少しずつ日の入りの時間も早くなってきていたので、暗くなる前にはヤギをヤギ小屋に連れていけるように気をつけながら、授業や実習が終わり次第集まって1時間程度の除草もできるようにしました。ヤギは除草場所に着くとおいしそうに草を食べてくれました。特にコメくんは除草場所に着くなりむしゃむしゃと草を食べ始めます。ムギちゃんは除草場所に着いてすぐは近くにいる私たちにすり寄ってきたり、コメくんのことを見たりしていたのですが、そのうちコメくんと同じように草を食べ始めました。ヤギもそれぞれ性格が違ってかわいいですし、おいしそうに草を食べている姿を見られることが何よりうれしく、今まで頑張ってきてよかったと感じました。11月までため池3のヤギ除草を行い、本年度の活動は終了しました。その後、柵の片付けを行いました。



草を頬張るコメくん



除草するヤギ

6. ヤギ草プロジェクト 2024 年度総括

山口大学のキャンパス内でヤギ除草をする、という目標を掲げ、昨年度に引き続き2年に渡って活動してきたヤギ草プロジェクト。ヤギに除草を手伝ってもらうにあたり、事前にさまざまな準備をしましたが、ヤギと除草場所に行くことに苦労した時期もあり、実際に始めてみると想定外の壁に何度もぶつかりました。しかし、そんなときもみんなで意見を出し合い、協力し合って、今年度も楽しく活動することができました。

構想期間を含め、ヤギ除草の実現に向けて多大なるご協力を賜りました自主活動ルームの石井様、学生支援課の皆様、農学部付属農場の皆様、ヤギ除草のために除草場所を準備してくださった皆様、共同獣医学部の皆様、このヤギ除草にご協力くださったすべての皆様方に対して、改めてヤギ除草隊一同心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。